

新たな総合計画策定に係るパブリックコメント結果について

意見募集期間 平成 31 年 1 月 9 日（水）～平成 31 年 2 月 5 日（火）
開催場所 本庁情報公開室、各市民センター、図書館、ミネルバ、すこやかセンター
意見提出者 10 人

■全般

	意見概要	総合計画への反映状況・市の考え方等
1	・安全・安心に暮らせるまちにしていきたい。③	基本構想の将来像の項目に反映しました。

■環境保全

	意見概要	総合計画への反映状況・市の考え方等
2	・玉野市のごみは玉野市で焼却していただきたい。③	<p>可燃ごみの処理については、岡山県が策定した「新岡山県ごみ処理広域化計画」に基づき、可燃ごみの広域処理について、2017（平成 29）年 3 月に、岡山市及び久米南町と 2 市 1 町による協定を締結し、2023 年度からの新施設の稼働を目指した事業を推進しています。また、処理施設の候補地については、2018（平成 30）年 8 月に岡山市内に決定しています。</p> <p>なお、広域処理に移行するまでの間は、引き続き東清掃センターの適切な維持管理を行うとともに、広域化後の可燃ごみの運搬及びその他の処理施設について、施設の適正な管理運営に努めます。</p>

<p>3</p>	<p>・地域の住民でなければ守れない生物多様性は、市民が次の世代に引き継いでいく責任がある。生物多様性基本法に基づく生物多様性地域戦略を策定すべきであり、環境教育は重要と考える。③</p>	<p>玉野市において「生活環境の適正な保全」を図るうえで課題は様々なものがあります。大気環境の問題もありますが、特に「児島湖の水質改善」及び「瀬戸内海の海ごみ」について、解決しなければならない課題であると受け止めており、今後、国・県の動向に注視しながら環境保全施策の推進に取り組む必要があると考えております。</p> <p>そのためには、ご指摘の「環境教育」の取組は重要なものと考えられますので、貴重なご意見として、今後の事業推進に役立てたいと考えております。</p>
<p>4</p>	<p>・みやま公園について、見た目優先の維持管理により、周辺の降雨後の土砂流出が続いている。③</p>	<p>みやま公園について、利用者の方々に快適にご利用いただくためには、美観の整備や遊歩道等公園施設の整備が不可欠であり、そのことが公園の魅力を向上させ、より多くの方々に訪れていただくことにつながっております。</p> <p>ご指摘の土砂流出につきましては、近年の地球温暖化等による気候変動が原因と考えられる豪雨の影響により、みやま公園内及び周辺の保安林等でも土砂崩れなどが発生していることから、樹木伐採のみが原因であるとは言えない状況と考えております。</p> <p>今後も、多くの方々に利用していただくために、施設の安全性や快適性を向上させるとともに、魅力ある公園として、土砂流出を防止するための対策に取り組むこととしております。</p>

■地域活動

	意見概要	総合計画への反映状況・市の考え方等
5	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センターは、これまで地域活動や社会教育活動の拠点になっていたことから、市民センターがなくなると、これまで取り組んできた地域活動が低調になるといった不安がある。 ・東児、荘内、山田、八浜など中心から離れた地区での行政拠点が無くなってしまう。③ 	<p>人口減少が進む現状においては、人口規模に見合ったサービスへの見直しが求められるとともに、少子高齢化を見据えたさらなる地域活動の促進が必要となっています。</p> <p>これらを踏まえ、今後の地域の方向性として、2017（平成29）年2月に策定した「玉野市行財政改革大綱実施計画」に位置付けた、市民センター及び公民館の今後の方針をもとに、効率的な運営を目指した改革に取り組んでいるところです。</p> <p>今後は、地域活動支援の充実に向けた具体的な方策の検討や、コンビニの利用方法及びマイナンバーカードの取得方法等の周知啓発を行うなど、円滑な制度移行に向けた取組を推進します。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センターの窓口業務の改革に当たり、コンビニを利用することは、高齢者にとって困難である。また、マイナンバーは、プライバシーの漏洩が不安である中、行政として無責任である。③ 	

■行財政改革

	意見概要	総合計画への反映状況・市の考え方等
7	<ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの民営化、ごみ焼却施設の広域化、市民病院の民間との統合、これら全て市が運営するのではなく他の企業任せとなる。 ・市民の生活を支えるべき業務を資金面だけに着目し民間に放棄するのは間違っている。③ 	<p>民間活力の導入は、多様化する市民ニーズへの対応、総コストの削減、行政サービスの向上、地域経済の活性化といった複雑化する行政課題に対して、柔軟かつ的確に対応するための手法の一つと認識しております。</p> <p>より良い公共サービスを効率的かつ効果的に提供するため、人員・コストの削減効果だけでなく、サービスの向上や地域課題の解決等も視野に入れ、民間活用の検討を行っています。</p>

■公共施設の再編

	意見概要	総合計画への反映状況・市の考え方等
8	・給食センターの整備を民間任せにすべきではない。③	給食センターの整備にあたっては、本市の厳しい財政状況を踏まえ、財政負担の軽減が大きな課題と認識しています。そのため今回は、事業者からの提案を幅広く求め、民間のノウハウを最大限生かすこととしています。なお、いずれの手法で整備する場合も、食材の調達、献立作成はこれまでどおり市が責任を持って行うとともに、調理管理、衛生管理等についても、市が責任を持ってモニタリング（監視）を行います。